

## 日本語用論学会第 26 回大会のご案内

日本語用論学会第 26 回大会は、以下のとおり、創価大学（東京都八王子市）での開催を予定しております。

- ◆日時：12 月 9 日(土)、10 日(日)
- ◆場所：創価大学  
〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

### ★開催方法変更時の案内について

社会情勢の影響により、オンライン開催に変更する場合は、日本語用論学会公式ウェブサイトと会員メーリングリストで告知します。

### ◆主なプログラム

たまかなプログラムは以下を予定しております。タイムスケジュールや変更点など、詳細は追って日本語用論学会公式ウェブサイトと会員メーリングリストでお知らせいたします。

### 【大会テーマ】

「日本語教育のために語用論ができること」

《12 月 9 日（土）》      《12 月 10 日（日）》

- |          |         |
|----------|---------|
| ☆ワークショップ | ☆研究発表   |
| ☆ポスター発表  | ☆語用論茶寮  |
| ☆研究発表    | ☆招待講演   |
| ☆会員総会    | ☆シンポジウム |
| ☆基調講演    |         |
| ☆懇親会     |         |

### 【基調講演】

「日本語学習者による日本語の理解過程—理解困難点と推測技術—」  
野田尚史（日本大学）

### 【招待講演】

中国語用論学会（CPrA）より招聘予定

### ◆発表募集

発表形態は、口頭発表、ポスター発表、ワークショップの 3 種類です（発表言語は日本語ないしは英語）。各スケジュールと応募要項は以下をご覧ください。皆様のご応募をお待ちしております。

- 投稿締め切り：2023 年 8 月 19 日（土）
- 採否通知：2023 年 9 月下旬
- 大会発表要旨(Abtract)原稿締切:2023 年 10 月中旬頃

- 大会発表論文集(Proceedings)原稿締切:2024 年 3 月 31 日(日)

※本大会で発表される日本語教育学会会員の方もご投稿いただけます。

### ◆応募要項

#### ①申し込み資格

口頭発表・ポスター発表の第一発表者、ワークショップの代表者として発表を申し込むには会員である必要があります。なお、ワークショップは司会者を含めて 3 名以上の団体である必要があります。

今大会では、日本語教育学会会員の皆様は日本語用論学会非会員であっても研究発表に応募できます。大会参加時には、特別に設定された大会参加費をお支払いください。

#### ②発表テーマ

- i 語用論研究と関連するテーマであれば自由。
- ii 今大会では日本語教育と語用論の両方に関連するテーマを特に歓迎します。（日本語教育関連発表のセッションを設ける予定）

#### ③発表形態と発表時間

- 1) 口頭発表：発表 25 分＋質疑応答 10 分
- 2) ポスター発表：1 時間（掲示時間）
- 3) ワークショップ：1 時間 40 分

※1. 新型コロナウイルス感染症に関わるやむを得ない事情が生じた場合には、すみやかに大会発表委員会にご相談くださいますようお願いいたします。

※2. 社会状況を鑑みてオンライン開催となる場合もあります。予めご承知おきください。

#### ④発表言語：日本語または英語

#### ⑤申し込み先

日本語用論学会会員の皆様は、学会ホームページの会員専用ページ「[マイページ](#)」内からお申し込みください。

日本語教育学会会員による応募は、[こちらの](#)フォームから期日までにご投稿ください。

#### ⑥申し込み原稿の形式

発表の種類にかかわらず、申し込み原稿はすべて同じ形式です。

用紙サイズ：A4 縦

規定文字数：日本語 2,500 字以内、英語 500 words 以内。日本語の場合は文字数を、英

語の場合は word 数を、原稿の末尾に記入してください。

ファイル形式: Microsoft Word 形式 (doc, docx)、PDF 形式(pdf)

- ・氏名と所属は記入しないでください。
- ・発表タイトルを 1 行目に、タイトルの下に 1 行空け、次の行から本文を記入してください。
- ・ワークショップの場合は、発表者全員分の要旨が規定文字数・word 数に収まるようにまとめてください。
- ・文字数と word 数には、例文、表、キャプション、注釈を全て含みます。ただし、図形内のオブジェクトに添えられた文字や参照文献は含みません。日本語原稿の中にアルファベット等の半角文字を含む場合、半角文字 2 文字を 1 字と数えます。
- ・参照文献の書式は『語用論研究』に準じます。
- ・指示された形式やファイルフォーマットに従わずに申し込んだ場合、内容にかかわらず不採用となることがあります。
- ・タイトル(サブタイトルを含む)は、(大会発表委員会、大会総務委員会から依頼する場合を除き)一切変更はできません。採択や発表後に公表される「プログラム」「要旨集」「大会発表論文集(Proceedings)」に掲載されるタイトルは、申込時のタイトルとなります。なお、発表応募時に(「マイページ」内の)「大会発表応募ページ」に記入するタイトルと、ファイルで提出される申し込み原稿内のタイトルが一貫しているか、入念にご確認をお願いいたします。

#### ⑦申し込み原稿の留意事項

申し込み原稿には、表現や構成のわかりやすさと説明の一貫性が求められます。かつ、以下のような点について過不足なく論じる必要があります。

- ・問題となる現象
- ・その現象についての先行研究と問題点
- ・現象の分析に用いるデータ
- ・現象の分析方法
- ・現象の分析結果
- ・分析結果に基づく結論と理論的含意

#### ⑧申し込み制限

一人の会員が発表者として申し込みできるのは、一大会につき 2 件(ワークショップ含む)までです。かつ、第一発表者、または、ワークショップの代表者として申し込みができるのは一大会につき 1 件のみです。

#### ⑨二重投稿の禁止

申し込みにおいては、二重投稿を禁止します。大会発表委員会が二重投稿と認めた場合、その申し込みは受理されません。かつ、次年度の大会においても当該者を発表者に含む申し込みは受理しません。

- ※1. 二重投稿とは、他の学会で既に発表した、もしくは発表を申し込み中である内容、または、既に学術的刊行物に掲載された、もしくは投稿中である論文と極めて類似する内容で申し込むことを指します。
- ※2. 学士論文・修士論文・博士論文は、公表や出版がされていない場合、「学術的刊行物」には含めません。
- ※3. 学会の発表や学術的刊行物の掲載へ応募したものであっても、既に不採択が決定している内容を申し込む場合は、二重投稿に含まれません。

#### ⑩選考結果の通知

選考結果は 9 月下旬に第一発表者、または、ワークショップの代表者宛に通知します。

#### ⑪発表賞について

例年の通常開催と同様、口頭発表、ポスター発表において事前に発表賞の審査を受けることを申告している発表者が対象となります。

応募条件: 第一発表者が日本語用論学会・日本語教育学会の現会員であり、大学院生か学部生もしくは 2023 年 4 月 1 日時点で 40 歳以下であること。

#### ⑫No Show に対する措置

発表が採択されたにもかかわらず、大会当日に大会発表委員会に無断で発表を行わない場合やポスターの掲示のみで説明を行わない場合は、これらを「No Show」とみなし、学会ウェブサイトにて公表します。ただし、事前、または、当日に(やむをえない場合には事後に)、発表を行えない(行えなかった)合理的な事情の説明がある場合には、「キャンセルされた発表」とします。

#### ◆問い合わせ先

発表申し込みに関するお問い合わせは、下記アドレス宛に 8 月 11 日(金)までにお問い合わせください。

E-mail : presentation -at- pragmatics.gr.jp  
(大会発表委員長・西田光一宛)

◆第26回大会会場・創価大学への交通・宿泊について

[大会会場について]

会場：〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236  
創価大学



[宿泊について]

JR「八王子駅」・京王線「京王八王子駅」周辺が便利です。

最寄駅・所要時間：JR「八王子駅」・京王線「京王八王子駅」からバスで約20分

<https://www.soka.ac.jp/access/>

[交通について]

★JR 八王子駅北口のバスロータリー11, 12 番乗り場(土曜日 12:30 までは 14 番乗り場)、または京王八王子駅 4 番乗り場から、以下の行き先のバスにご乗車ください。

- ・「創価大学正門東京富士美術館」行き
- ・「創価大学循環」
- ・「創価大学栄光門」行き(直通)
- ・「創価大学正門経由工学院大学」行き

※「八日町経由」と「ひよどり山トンネル経由」があります。乗車時間が短いのは「ひよどり山トンネル経由」です。